



ごあいさつ

6月は、季節外れの台風の上陸や、各地で相次ぐ地震など、防災を意識させられる自然現象が続きました。皆さん、日頃から災害への備えは大丈夫でしょうか。近年の猛暑の常態化・長期化を踏まえると、防災にも暑さ対策が求められます。例えば、接近が予測される大型台風に備え、ペットボトルの水を凍らせて準備しておくことなどが考えられます。「今、災害が起きたら…」と想像力を働かせて備えることが大切です。

一方、神戸市では、防潮堤の改修による津波・高潮対策、上水道や下水道の耐震化、大容量送水管による飲み水の確保など、市民の皆さんの目に触れないところで防災対策が進んでいます。現状に満足することなく、防災士の資格を生かして、これからも神戸市の防災・減災対策をチェックし、市民の安全・安心の向上に取り組んでまいります。

6月の活動紹介

【本庁舎 2 号館起工式に参加】

6月12日に本庁舎 2 号館の起工式が執り行われ、地元議員として参加いたしました。本庁舎の立地は、三宮周辺と旧居留地、再整備中のウォーターフロントの結節点に位置し、庁舎機能に留まらず、ホテル・オフィス・商業施設そして市民利用空間を備え集客・にぎわい機能があり、この先少なくとも70年間は利用される建物になります。子はもちろん、孫やひ孫の時代にも利用される施設の起工式に立ち会え、大変光栄でした。



【トイレカーを視察】

北区にある『里山自然共生センター』に配備されたトイレカーを視察しました。一昨年の能登半島地震の避難所でも活躍したトイレカーを神戸市にも導入するよう、公明党の岩佐市議(東灘区選出)が粘り強く求め続け、このたび神戸市にも1台導入されました。平時は上下水道が整備されていない当施設や、イベントなどで多くの人が集まる際に活用され、災害時には避難所などで利用されます。導入された車両は、男性用・女性用・多目的トイレを備え、車イス利用者や足の不自由な方のための昇降機も設置されています。車体には『K O B E』の文字があしらわれ、派遣先の被災地の皆さんを勇気づけるメッセージも込められています。



【ラグビー コベルコ神戸スティーラーズが表敬訪問】

ラグビーリーグワンを初制覇したコベルコ神戸スティーラーズの、デイブ・レニーヘッドコーチ、李承信共同キャプテン、ブロディ・レタリック共同キャプテン、中森慶太郎担当役員らが優勝報告のため久元市長を表敬訪問され、スポーツ推進議員連盟の副会長として同席いたしました。目の前で見える優勝トロフィーはとて大きく、ひときわ輝いて見えました。スティーラーズの優勝は、ファンのみならず神戸市民が待ち望んだものであり、神戸のまちに笑顔があふれたのではないのでしょうか。

来年はラグビーワールドカップ開催の年です。スティーラーズからも李選手ら複数の選手が日本代表候補に挙がっています。ワールドカップとリーグ戦が重なり、ラグビーが熱い一年になりそうです。



【コラム】

昨年の本会議で提案した、神戸市主催の防災士養成講座の募集が始まりました。

資格取得後、市内で地域防災の担い手として積極的に活動する方を対象に無料で受講できます。申し込み締め切りは7月31日です。詳しくは下記QRコードからご確認下さい。



【ウクライナ友好議員連盟設立総会】

これまで議員個人として、ウクライナ避難者を支援する方々のサポートをしてきましたが、このたび、超党派の議員連盟が結成されることとなり、参画いたしました。

設立総会は、神戸学院大学内にあるウクライナ名誉領事館で行われ、日本におけるウクライナ研究の第一人者であり、名誉領事を務められる岡部芳彦教授による特別講演も行われました。今後も様々な方々と協力し、避難者に寄り添ってまいります。



【兵庫県タクシー協会総会に参加】

6・7月は、各種団体の総会シーズンです。6月25日には、兵庫県タクシー協会様の総会後の懇親会に、高橋みつお参院議員とともに参加し、ご挨拶をいたしました。公明党はこれまで、全国の地方議員が地域公共交通の要である「タクシー事業」の維持や、利用者の利便性向上に向けて、業界への経営支援や住民向けの利用助成を推進してきました。これからも引き続き、地域交通を支えるタクシー業界を応援してまいります。



公明党市会議員団控室

〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL: 078-322-5842



YouTube



Instagram

